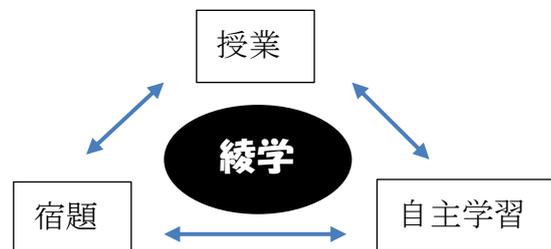


自分で学習する力を付けるための

「Let's 自主学習Ⅱ」の心がまえ

1 家庭学習の意味

授業で分かったこと、できるようになったことを宿題で確認し、苦手なところの克服や新しい単元の予習、調べてみたいことの追究のため、自分で目標を立てて自主学習に取り組むことはとても大切なことです。綾部中学校では、このような学習の授業・宿題・自主学習に取り組むサイクルのことを『綾学』（あやがく）と言っています。



綾中サイクル学習のすすめ

～授業・宿題・家庭学習から『綾学』より

2 「Let's 自主学習Ⅱ」で大切にすること

その一 保護者と一緒に取り組みましょう。

- ・ 宿題のノートとは別に自主学習用のノートを用意しましょう。
- ・ 1・2年生のみなさんは、はじめは「Let's 自主学習Ⅱ」の使い方をおうちの人と一緒に読みながら取り組みましょう。慣れてきたら自分でしましょう。

その二 身のまわりを整えましょう。

- ・ 集中するためにテレビを消しましょう。
- ・ 机の上には使うものだけにしましょう。
- ・ えんぴつはけずりましょう。

『好きこそものの上手なれ』
ということわざがあります。



その三 学習の「めあて」と「振り返り」を書きましょう。

- ・ 学習をはじめる前に目標となる学習の「めあて」を立て、学習の終わりには「振り返り」を書きましょう。目標を立て振り返ることは、学習への意識を高めます。
- ・ 学習の「めあて」を立てることが少し難しいときは、学習内容に関するタイトルを立てましょう。

その四 できることから取り組んでみましょう。

- ・ 好きなことから始めてみましょう。
- ・ 国語や算数だけでなく、他の教科でもかまいません。
- ・ 絵を描いたり、図鑑を写したりしてもよいです。

3 自主学習を頑張るみんなへ

授業で分かったこと、できるようになったこと、難しく分らなかったことなど、自主学習ノートに書いてみましょう。書くことで、深く考えられたり、できるようになったりします。好きなことからでも、やってみたいことからでもOK！できそうなことからやってみましょう。

保護者の方へ

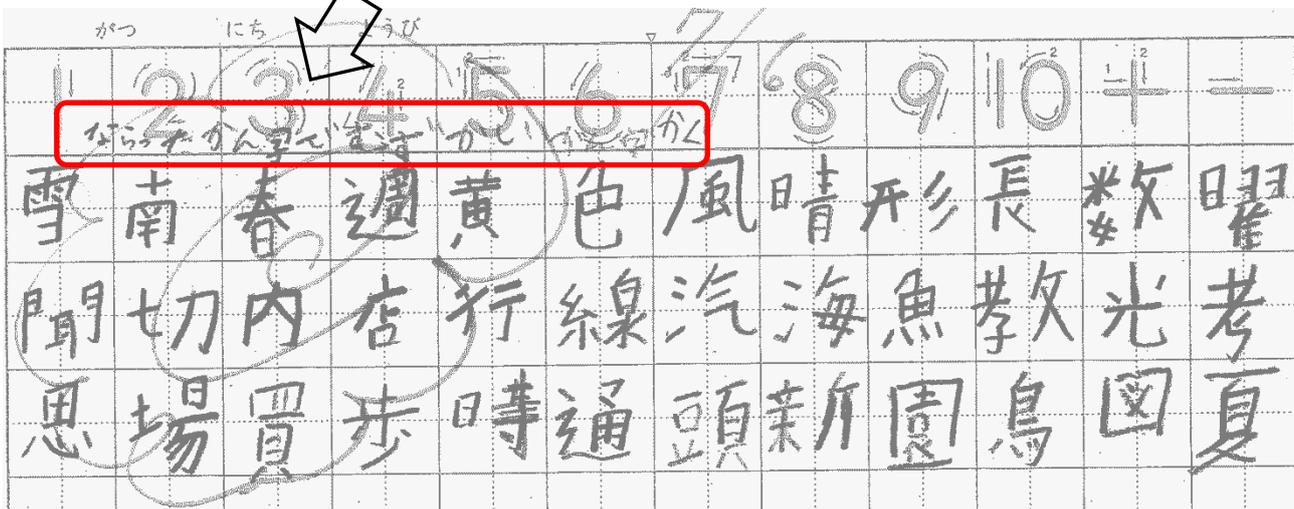
家庭学習を支えるポイント

- ◇学習しやすい環境をつくること。
- ◇学習している様子を見守ること。
- ◇学校での様子に関心を持つこと。
- ◇将来の夢について話をする事。

1・2年生（基本版）

- ・ 国語、算数など授業の復習を中心に漢字練習や計算練習を自主学習で取り組みます。
- ・ 同じ問題を何度も繰り返すことは効果的です。

国語（漢字） 学習のめあて



自主学習の「めあて」を立てて取り組んでいます。習った漢字の中で、自分が難しいと思う漢字を選び、練習をしています。一度だけでなく繰り返し書くことで、漢字を覚えていきます。

国語（数字の読み）



数字を数えるときの読み方を復習しています。算数の学習では、問題文に何度も数字を読む場面が出てきます。1年生のときから正しく身に付けていきたい内容です。

算数 (計算)

授業で学習したことを復習しながら、計算を解いています。

どのように考えたのかを○で囲みながら図で表している点が分かりやすく書けています。

算数 (とけい)

時刻をよむことは、子どもたちが苦手としている学習の1つです。

この自主学习では、教科書の問題と同じように、時計（長針、短針）を書いています。図を描くことで、時刻と針の位置をとらえることができます。



1・2年生（発展版）



・ 授業で学習したことをもう一度図などを使ってまとめたり、自分で問題を作ったりすることで、説明を書く力や文章問題を解く力につながります。

国語（漢字のつくり）

国語の漢字のつくりの学習です。
2つの漢字で共通する部分をつなげる問題です。「漢字のつくり」に注目できるような学習です。また、線で結ぶだけでなく、同じ部分を書き出すことは良い工夫です。

算数（文章問題）

算数の文章問題の自主学習です。
式と答えだけでなく、テープ図を使って問題を解いています。授業で学習したことをもう一度、自分でかいてみることは大切なことです。また、筆算など、計算のあとも残しています。考えた順番が分かるような工夫は素晴らしいです。

算数（問題づくり）

算数の問題づくりの自主学習です。
式に合うように自分で算数の文章問題を作っています。問題を作るときには場面の様子を想像しながら作ります。この想像する力が文章問題を解くときの力になります。

